

いちき串木野市立川上小学校 万物実る秋の到来!

校長 池田 伸一

平成最後の川上小学校・川上地区合同の大運動会は、当初、雨が心配されていましたが、天気にも恵まれ、たくさんの皆様方の参加やご協力・ご支援により、大盛會にて終了することができました。ありがとうございました。

会場に来られた方からは、今年の運動会について、「子どもたちが一輪車などよく頑張っていましたね。」とか、「芝生や走路がよく整備されていた。」とか、「今年もいい緑門ができていた。」や「けがもなく、学校と地域が一体となった運動会で楽しかった。」など、いい運動会だったという声をたくさんいただきました。また、洋式トイレの表示が必要ではないか等のご指摘もありました。改善するところが他にもあったのかも知れません。今後も声をお聞かせください。みんなでこれからもいい運動会にしていければと思います。ありがとうございました。

読書は、頭や心だけでなく、健康にもいい!?

何をするにも活動しやすい季節『秋』になりました。

先日、テレビで「AI（人工知能）の分析から導き出された、いつまでも元気に暮らす秘訣」という番組を放映していました。NHKが開発したAIが41万人の生活習慣や行動のデータを学習し、どんな要素が健康と密接に関係があるかを明らかにしたものです。それによれば、「本や雑誌を読む」が、「ヨガや散歩のグループに参加」「外出はほぼ毎日」「友人とよく笑う」など他の健康要素と最も多くつながっていた要素だったそうです。すなわち、読書習慣がある人は、無い人より、健康で長生きできるということのようです。

本校の子どもたちはよく本を読みます。これまで、子どもたちへ、読書は感動を与え、心や知力を広げるものという観点で、読書活動を推進してきましたが、生涯にわたる健康習慣育成という点でも、子どもたちの読書習慣づくりを推進していければと考えることでした。秋の夜長、子どもたちに、もっと読書に親しんでほしいと思います。



川上つる

平成30年 10月号

『皆様の御協力あつての秋季大運動会 大成功!』

運動会当日まで棒踊りの指導〈松比良さん〉、市来音頭の指導〈黒木さん〉、緑門設置〈地域の皆様〉、校庭の走路整備〈(株)石橋組〉など多くの御協力ありがとうございました。6年生として、応援団長として見事に運動会を引っ張ったF・Mさんは、「練習で覚えきれないことがあったり、みんなとトラブルがあったりしたけど、本番で実力を出し優勝することができたのでうれしかった。来年は中学校の体育大会。さらに頑張りたい。」とインタビューに答えてくれました。

また、ご近所のコウ自動車様から運動会に向けて頑張っている子どもたちにスポーツドリンク1ケースをいただきました。ありがとうございました。



『読書週間の充実』

9日(火)に、全国の学校や図書館を巡る講談社による全国訪問おはなし隊による読み聞かせがありました。子どもたちは、隊長の読み聞かせに聞き入っていました。1年生のT・Sさんは、『おなかのなかで』という絵本が面白かった。」と嬉しそうに話してくれました。



【絵本の読み聞かせに大満足の子どもたち】

読み聞かせの後には、魅力的な本がたくさん展示されているキャラバンカーの見学もしました。

また、職員やお話カンガルーの皆様(大賀清美さん、中原信子さん)による読み聞かせ、親子読書など様々な取組が行われ、これまで以上に読書に親しんだ子どもたちでした。



『雑巾の寄贈 ありがとうございます!』

今年も市来商工会女性部の皆様より雑巾をいただきました。学校の清掃活動をますます充実させ、学校内だけでなく、子どもたちの心も磨き、働くこと、人のために動くことの尊さが分かる子どもに育てていきたいと思ひます。



《おめでとう》

市陸上記録会

第3位 5年女子走り高跳び

記録 100cm H・Y

市来愛友会標語審査

1席 5年 H・Y

『あいさつで 緑の中にも 華が咲く』

2席 6年 F・M

『おはようで 元気な一日 スタートだ』

3席 4年 K・S

『おはようと みんなにっこり 川上地いき』

地かえて祭り「ふるさとに夢をのせて」俳句作品コンクール

最優秀賞 4年 U・Y

『湯気にのり 香り広がる 川上茶』

優秀賞 4年 K・S

『あぜ道で 遊ぶ子見つめ 田の神さあ』

優秀賞 2年 S・M

『うつくしい 七夕おどり かねの音』

入選 5年 K・M

『すなをたて みんなできそう 浜競馬』

第2回黎明の地ふるさと短歌大会

特選 4年 K・S

〃 4年 H・R

「体力アップ!チャレンジかごしま」日置地区・鹿児島郡地区ランキング

【レッツ短縄跳び】

川上小1年生 第2位 37.6回 (優勝校 92.0回)

川上小2年生 第3位 114.6回 (優勝校 149.0回)

川上小4年生 第1位 180.7回

川上小5年生 第1位 226.6回

川上小6年生 第2位 189.0回 (優勝校 213.0回)

※鹿児島県では、県下の小学校が指定された縄跳びなどの各種目に取り組み、その種目ごとの記録を県に申告し、ランキングを競い合う「体力アップ!チャレンジかごしま」という取組があります。

《 11月の主な行事予定 》

地域が育む「かごしまの教育」県民週間（1日～7日）

- 1日（木） 道徳授業参観（1校時）
高齢者クラブ・保護者とのふれあい活動
（もちつき、グランドゴルフ、給食）
 - 2日（金） チャレンジ集会（3校時）
 - 7日（水） 市音楽発表会
 - 10日（土） 川上フェスタ（8：30～11：20）
 - 14日（水） 市来小との交流学习
 - 19日（月） 赤い羽根共同募金期間（～22日）
 - 21日（水） 避難訓練（火災）
 - 22日（木） 市英語暗唱スピーチ大会
家庭学習強調週間（市来中校区）
 - 25日（日） 市地区対抗駅伝競走大会
 - 29日（木） 文化芸術事業鑑賞会（旭小）
- ※移動図書（16日）



秋の全国交通安全運動

本校は、川上地区安全会隊員の古川清行さん、瀧脇重晴さん、逆瀬川信久さん、田瀧明さん、田中稔さんが、土砂降りの日も、真冬のまだ暗く寒い日もある中、年間を通じて登校指導を続けてくださっています。子どもたちの無事故が続いているのは、安全会隊員の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。



さて、9月21日～30日まで、秋の全国交通安全運動が実施されました。今年は、この期間中に職員だけでなく、保護者の皆様にも登校指導の協力をいただきました。本当にありがとうございました。この運動を通し、交通安全への意識が子どもにも大人にも広がって欲しいと思います。

《お待ちしております》

11/1（木）から11/7（水）までの1週間は地域が育む「かごしまの教育」県民週間です。特に11月1日（木）と10日（土）は、下記の内容を計画しています。この日だけでも、お越しください。

道徳授業参観

【11月1日（木）】
8：50～9：35
一生懸命考える姿を見てください。

ふれあい給食

【11月1日（木）】
12：15～13：05
おいしい給食と一緒に食べましょう。

グランドゴルフ・餅つき

【11月1日（木）】
10：45～11：45
上手にできるコツを教えてください。

川上フェスタ

【11月10日（土）】
8：30～10：50
学習したことを発表します。

『ふるさとを愛し、夢と志をもち、心豊かでたくましい子ども』の育成

上記の目指す子ども像は、市来中校区の小中一貫教育の目標です。これは本市における『教育振興基本計画の基本目標』を受けて設定されたものです。この目指す子ども像育成のために、日々の授業の中で、職員は地道に一生懸命取り組んでいます。職員は、子どもの学習内容の定着を目指すだけでなく、その授業を通してどのような資質・能力を育成すればよいのか、子どもにどんな見方や考え方を身に付けさせたいのかを考えながら、授業を展開しています。そのことが分かる子どもの作文を紹介します。

「ぼくは、鹿児島がすきなんだ」4年 U・Y

「東京に住みたい。鹿児島にはない物がたくさんあるし、にぎやかそうだもん。」
ぎゃくに鹿児島はいなかだし遊園地もないし、自まんでできる所も思いつかない。少なくとも今年の夏までは、そう思っていた。

今年の夏休みの自由研究で、ぼくは四十七都道府県のことを調べてまとめることにした。4年生になった4月に配られた地図帳を見ていて、面白いと思ったからだ。それに国語の学習で、今年から都道府県名の漢字を全ておぼえることになったこともある。全国のことを知ることができたらいいかなと、ちょっと軽い気持ちで研究を始めた。

図書室で資料を調べていると、東京や大阪など都会の様子が気になった。人口や工場の数、自然などたくさんのが鹿児島とはちがった。ぼくの好きな魚がたくさんとれるのは鹿児島の方だった。

研究の中で農業・漁業・工業の生産量なども調べた。調べたことをまとめながら、「かつおは鹿児島が一位じゃないんだ。」「ぶた肉は鹿児島が一位だ。」「鹿児島のさつまあげの方がおいしいはずだ。」「鹿児島は——。」と思いつつまとめている自分に気がついた。鹿児島のことがあまり好きじゃなかったのに、鹿児島をおうえんしているぼくだった。「もっと鹿児島のよさを知りたい。」そう思ったぼくは、東京出身で東京に長く住んでいた地域に住む川島さんにインタビューをした。東京と鹿児島のちがいを教えてもらうためだ。店や遊ぶ所は東京がたくさんあることを聞いた時は、うらやましいと思った。でも、自然や人の話になると、ぼくはうれしい気持ちでいっぱいになった。ぼくの住む鹿児島や県民のいい所をたくさん教えてくれたからだ。

「鹿児島にはね、きれいな海や自然ゆたかな島、きれいな星空、そして桜島があるんよ。鹿児島には他の県にはないダイナミックな自然があるんよ。人もやさしいしね。」と話してくれた。そう言えば、桜島に行った時に、ゴツゴツした大きなよう岩でうめつくされた場所を見ておどろいたことを思い出した。見上げた桜島はとてもはく力があつた。今もふん火をしている桜島の近くに、多くの人が住む町があるのもすごい。ふん火を間近で見ることができる。世界自然遺産の屋久島もダイナミックだ。あんなに小さな島なのに、九州で一番高い山がある。大きな杉の木や冷たくてきれいな水、たくさんの動植物など命を感じる島だ。世界一自然ゆたかで美しいと言われている種子島宇宙センターもある。

そして、ぼくがすんでいるこの川上は、小さい集落だが、地いきの人がいつも声をかけてくれて、見守ってくれる。学校の行事も手伝ってくれる優しい人ばかりだ。

そんな鹿児島がぼくは一番好きなんだということに気が付いた。これが、ぼくが今年の夏に見つけた大きな発見だった。

